



千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 { (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

94.5.13 No. 3994

県内地域集会続々決定!

全組合員の力で成功を

●船橋・習志野地域集会 (津田沼・総武京葉支部担当)

・7月15日(金) 18時より
・船橋市東部公民館 (津田沼駅下車徒歩五分)

●千葉地域集会 (幕張・千葉転支部担当)

・7月13日(水) 18時より
・千葉市民会館

●木更津地域集会 (木更津支部担当)

・6月24日(金) 18時より
・木更津市民会館 (木更津市役所近く)

●館山地域集会 (館山支部担当)

・7月上旬開催予定

●勝浦地域集会 (勝浦支部担当)

・6月18日(土) 18時より
・勝浦市民会館

●佐倉地域集会 (佐倉支部担当)

・6月28日(火) 18時より
・佐倉市立公民館

●銚子地域集会 (銚子支部担当)

・7月6日(水) 18時より
・銚子市コミュニティセンター

解雇撤回・清算事業団闘争をめぐる情勢は、まさしく抜き差しならない段階となっている。四月二十七日国鉄労働組合は、中央委員会を開催し、「政策提言路線(日刊三九七五、三九七八参照)」に転換することを決定。国鉄闘争中央共闘、連帯する会などの共闘団体もこの路線でいくことを確認した。そして六月二八日の中央集会↓七月全国大会でそれを国労の基本路線として確認しようとしている。

つまり国労が「分割・民営化反対」の旗を降ろし、政府・JRに「お願い」運動を行なおうとしているのである。しかも、国労・永田委員長も中央委

でこの方針は「両刃の刃」であると言っているように危険を承知の上でこの路線を歩もうとしているのである。解雇撤回・国鉄闘争勝利の大きなうねりを

われわれは、この危機的情勢に対し、解雇撤回・国鉄闘争の意義を声を大にして訴えなければならぬ。戦後労働運動において政府をあげた千名をこえる首切り攻撃に対し、組織を崩さず、これだけ長期にわたって闘いぬいた闘いがあつたであろうか。まして大量失

物販オルグ本格的に開始

県内オルグを貫徹しよう!

九四夏季物販全国オルグが本格的に始まった。今回の全国オルグはかつてない日程となっている。「国鉄闘争を水路に連合を打ち破ろう」との闘いが全国に水が砂にしみいるように受け入れられ、時の声となっている。そして全国各地で動労千葉のオルグを労働者・労働組合が心待ちにしているのである。

まさしく決戦だ。全国各地に動労千葉の闘いを訴え、もっと大きな支援の輪を拡大し、盤石な反撃体制を構築しよう。県内地域集会と物販オルグを貫徹しよう!